

地区名	調布市
研究主題	実感を伴った理解を図り,自らの考えを深める児童の育成

### 1. 主題設定の理由と活動内容

本研究では、『実感を伴った理解』が図れるような場面を設定した学習計画を立て、その過程で、児童自らの考えを深めることができる理科指導の在り方を追究している。

#### ① 具体的な体験を通して形づくられる知識・理解・技能

児童自らの諸感覚を働かせて、観察、実験などの具体的な体験を通して自然の事物現象について調べることにより、実感を伴った理解を図ることができる。児童が体感したことをもとに対話することにより、知識や理解を定着させることができると考えた。さらに、実際に実験や観察を繰り返すことで技能の向上を目指した。

#### ② 主体的な問題解決を通して得られる思考力・判断力・表現力

自らの問題意識に支えられ、見通しをもって観察、実験を中心とした問題解決に取り組むことにより、児童は思考力や判断力を伸ばすことができる。解決する問題に対して主体的に取り組んでいけば、考察も自分なりの言葉で結果から、妥当な結論を導き出すこともできると考えた。

#### ③ 実際の自然や生活との関係への認識を新たにし、学びを日常生活に生かそうとする態度

理科の学習で学んだ自然の事物・現象の性質や働き、規則性などが実際の自然の中で成り立っていることに気付いたり、生活の中で役立てられていることを確かめたりすることにより、理科を学ぶことの意義や有用性を実感し、理科を学ぶ意欲や科学への関心を高めることにつながるものと考えられる。

### 昨年度の授業研究

第5学年「メダカのたんじょう」      第6学年「てこのはたらき」

### 2. 令和2年度 年間計画

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の観点から、市での研究活動は休止状態となっている。